

保護者のみなさま

東浦町立西部中学校長 片山 雅貴

令和7年度「学校教育診断（アンケート）」の集計結果について

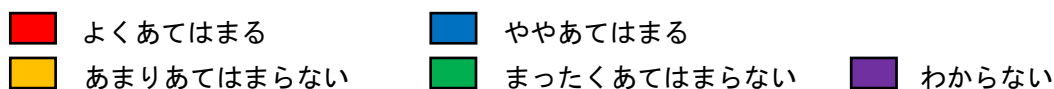
厳寒の候、皆様にはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。日ごろは本校の教育活動に多大なご理解・ご支援をいただき、ありがとうございます。

さて、過日お願いいたしました「学校教育診断（アンケート）」では、ご多用の中ご協力いただき、ありがとうございました。アンケートの集計結果を下記のようにまとめましたのでお知らせいたします。

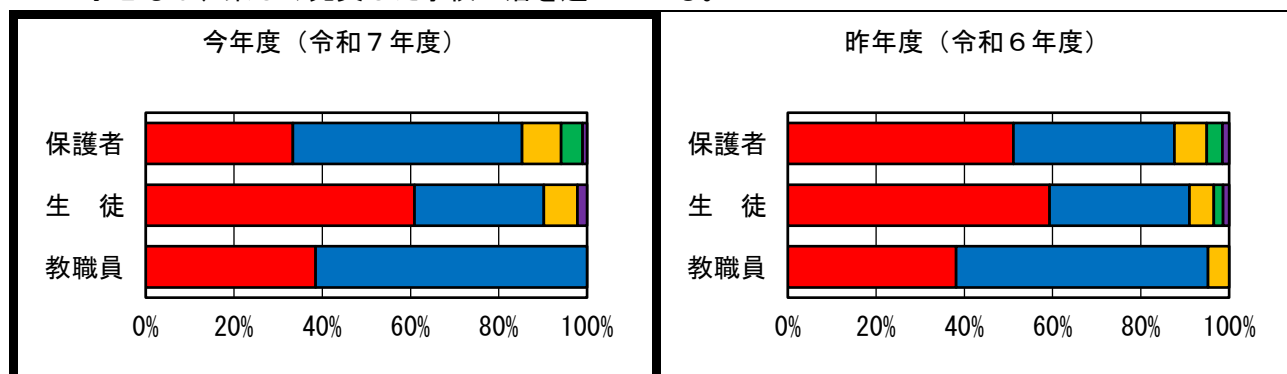
記

〔 調査状況：130 世帯（回答 102 世帯）、生徒 138 名（回答 92 名）、教職員 17 名（回答 13 名）〕

〔 凡 例 〕

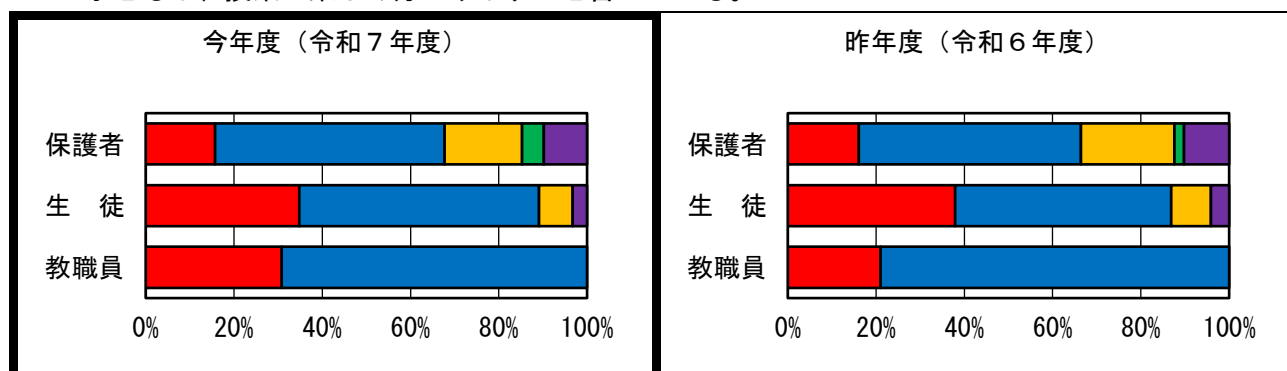


1 子どもは、楽しく充実した学校生活を送っている。



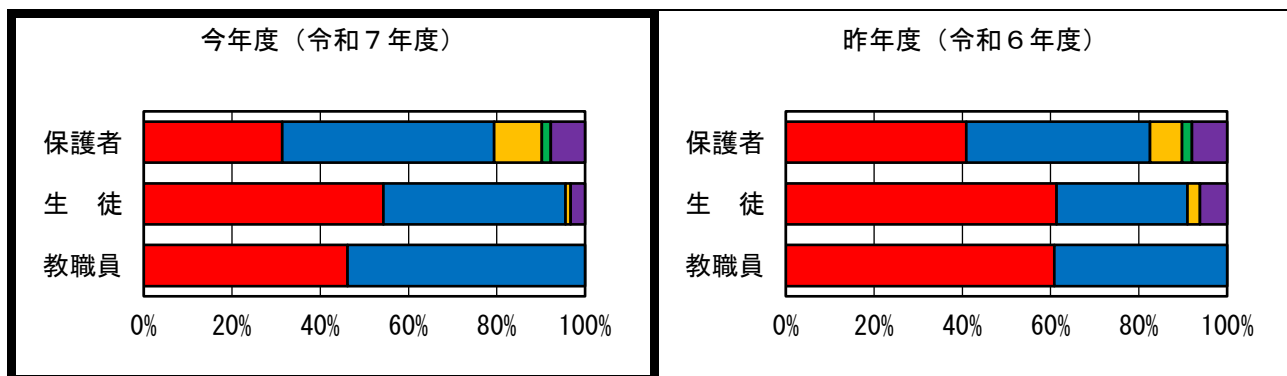
保護者・生徒ともに「あてはまる」は安定していますが、生徒の「よくあてはまる」が増加しました。子ども自身が学校生活を楽しんでいる様子が強まっており、主体的な充実感が確認できます。保護者の評価はやや低めですが、今後は学校生活の魅力を積極的に発信し、安心感を共有していきます。

2 子どもは、授業が楽しく分かりやすいと言っている。



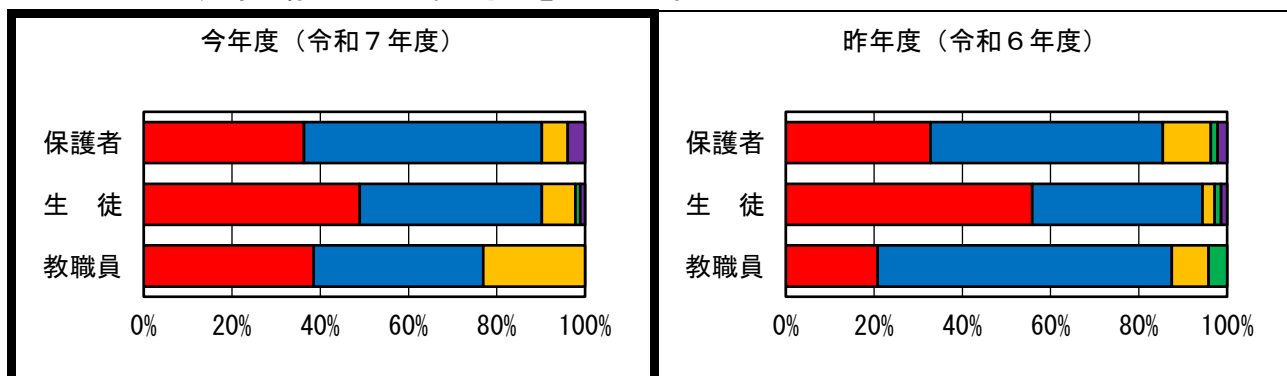
保護者・生徒ともに「あてはまる」は大きな変化はありません。授業の楽しさや分かりやすさをさらに高めるため、理解度に応じた支援を行います。少人数を活かしたきめ細やかな指導を進め、成果を保護者へ発信することで学びの楽しさを広げます。

3 学校は、子どものよいところを認め、褒めてくれる。



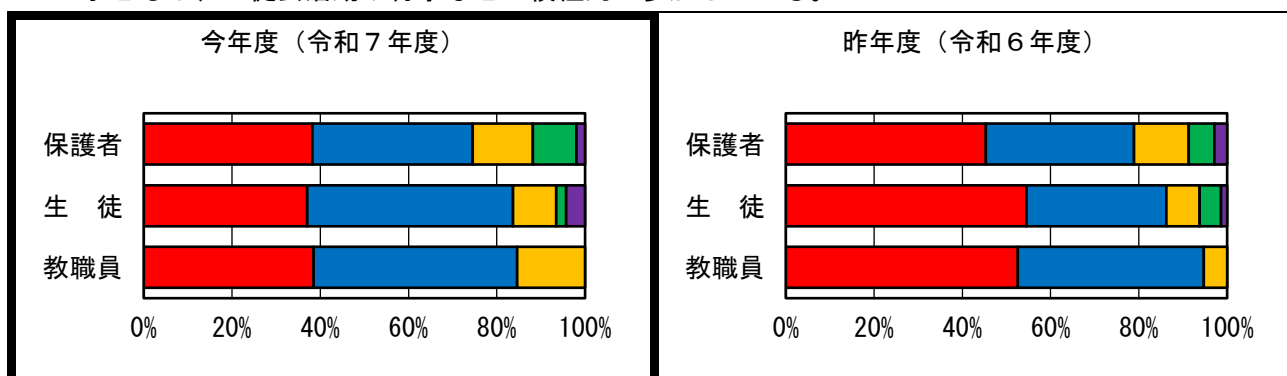
保護者・生徒ともに「あてはまる」は安定しています。努力や良い行動を懇談や通信で共有し、認める機会を増やすことが重要です。家庭と学校が連携することで自己肯定感を高め、安心して成長できる環境を整えていきます。

4 子どもは、時と場に応じたあいさつをしている。



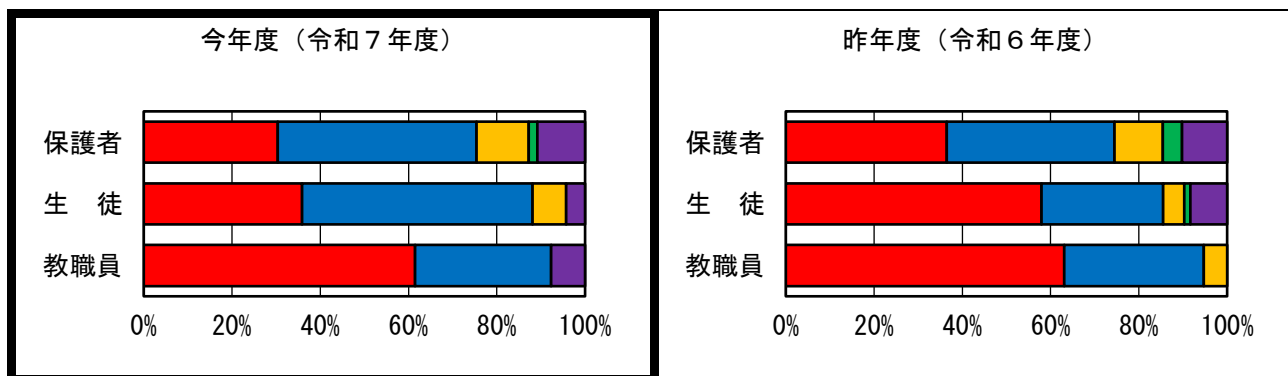
保護者・生徒ともに「あてはまる」は大きな変化はありません。朝の活動を生徒主体で展開し、生活習慣を定着させることが必要です。学校全体に明るい雰囲気を広げ、家庭とも協力して自然なあいさつを習慣化していきます。

5 子どもは、生徒会活動や行事などに積極的に参加している。



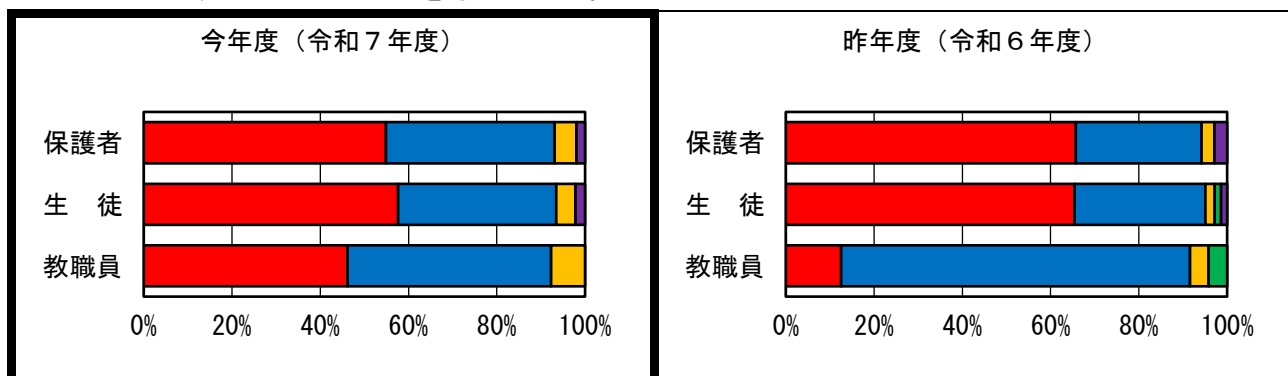
保護者・生徒ともに「あてはまる」は安定しています。少人数を活かし活動を充実させ、生徒の意見を反映しながら参加意欲を高めます。成果を保護者へ発信し、理解と協力を得ることで学校全体の活気を高めます。

6 学校の教職員は、相談しやすい。



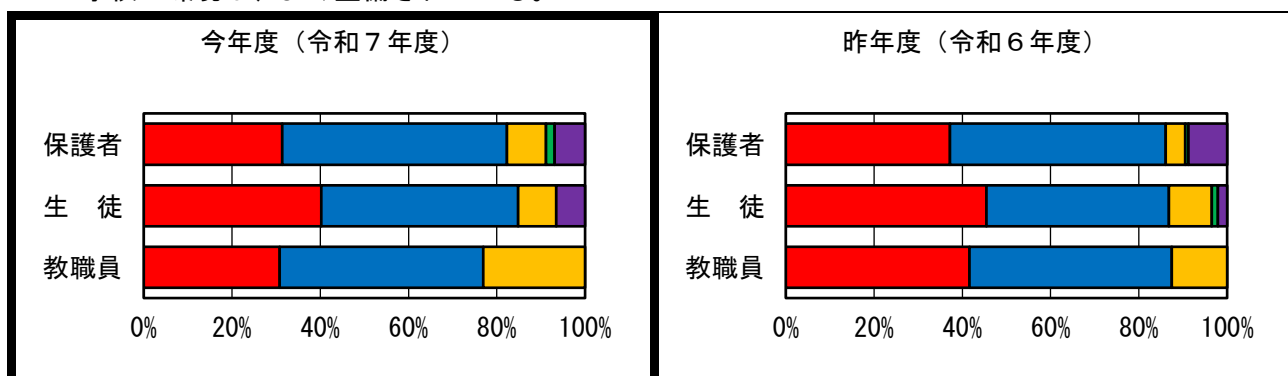
保護者・生徒ともに「あてはまる」は大きな変化はありません。相談窓口を明示し匿名相談を整えることで安心できる環境を進めます。保護者にも周知し、信頼関係を築きながら子どもが安心して声を上げられる雰囲気大切にします。

7 子どもは、ルールやマナーを守っている。



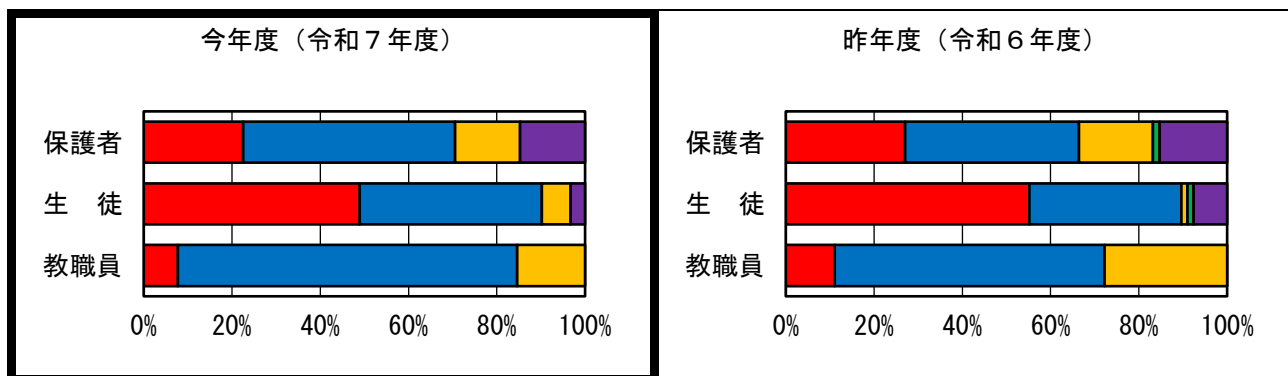
生徒の「よくあてはまる」が増加し、「あてはまる」全体でも増加傾向が見られます。子ども自身がルール遵守に自信を持っている点は重要です。良い行動を認める機会を増やし、家庭と連携して習慣を定着させます。

8 学校の環境は、よく整備されている。



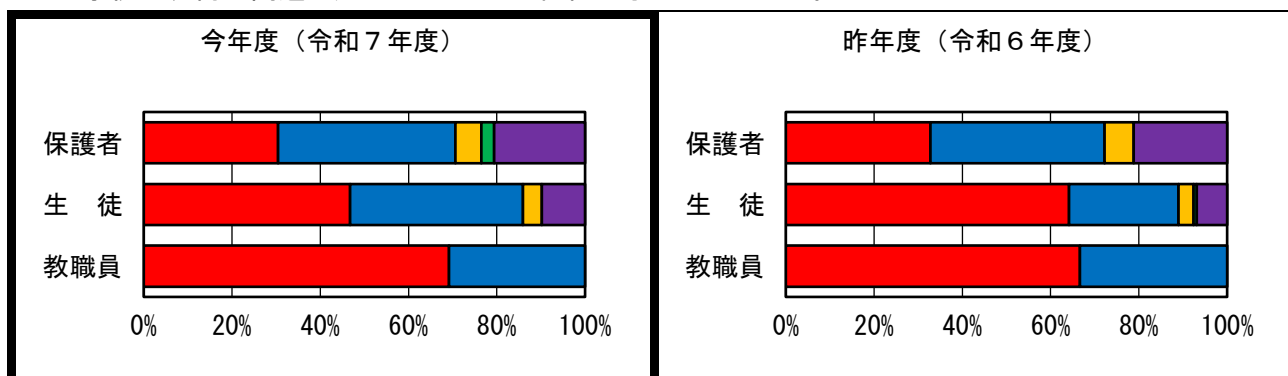
保護者・生徒ともに「あてはまる」は安定しています。生徒には、日頃から清掃活動や身近な環境を整えることの大切さを伝えるとともに、愛校心も育みます。

9 学校は、子どもが将来について考える機会や情報提供を十分してくれる。



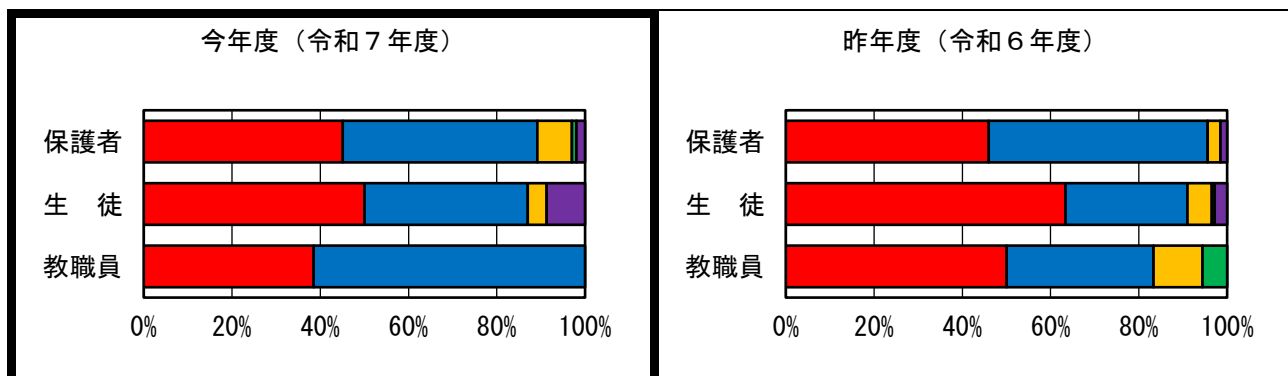
保護者・生徒ともに「あてはまる」は大きな変化はありません。地域や家庭との近さを活かし職業講話や交流を充実させます。活動内容を共有し、子どもが主体的に将来を考える力を育む環境を整えます。

10 学校は、何か問題が起きたときには素早く対応してくれる。



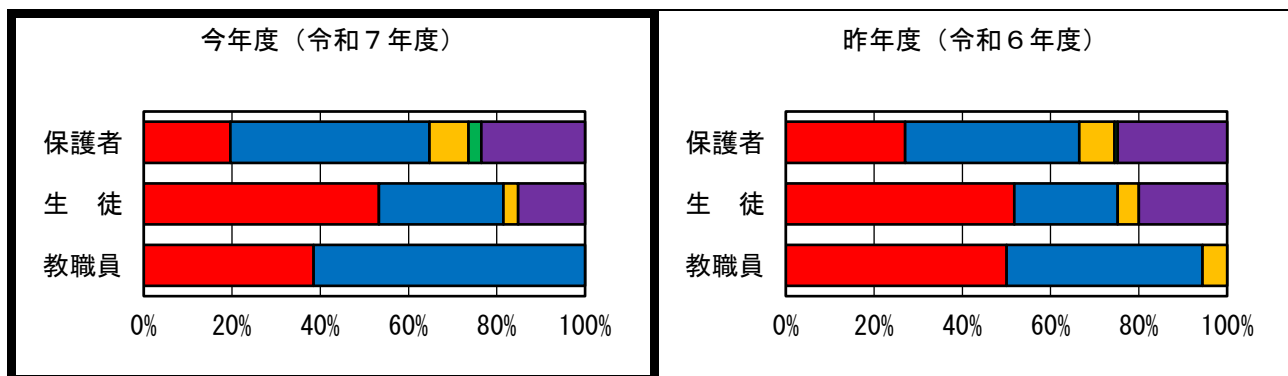
保護者・生徒ともに「あてはまる」は安定しています。少人数だからこそ迅速な対応が可能です。初動を保護者へ報告し安心感を高め、相談体制を整えることで学校全体の安全性を向上させます。

11 学校・学年だよりやホームページ、個人懇談会などを通して、子どもの学習や学校生活の様子がよく分かる。



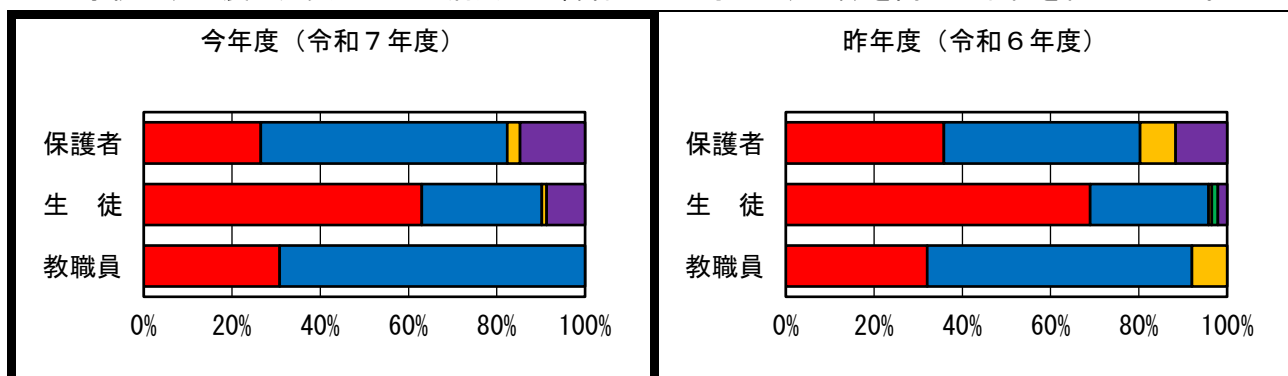
保護者・生徒ともに「あてはまる」は大きな変化はありません。丁寧な情報提供を重ね、デジタル配信を強化します。学校生活の様子を分かりやすく伝え、保護者との情報共有を充実させます。

12 学校は教育相談やいじめアンケートなどを通し、いじめの未然防止、早期発見に取り組んでいる。



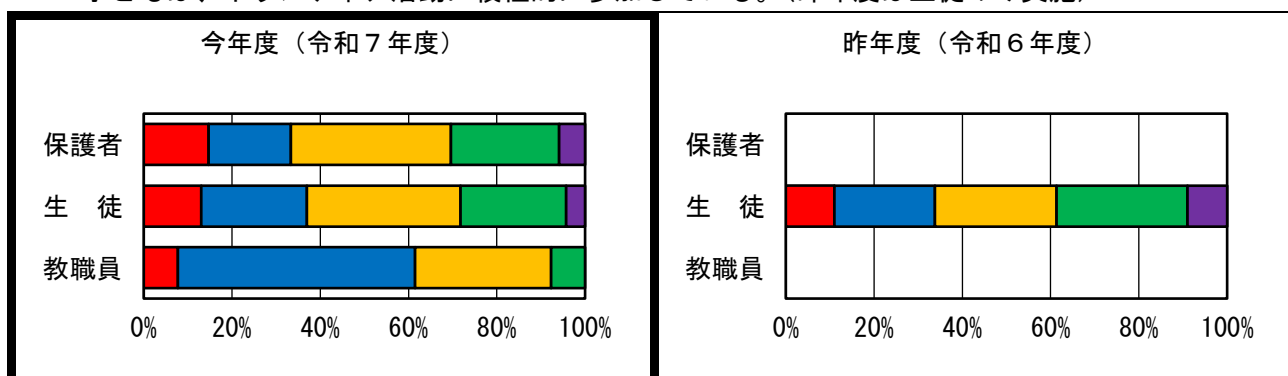
保護者・生徒ともに「あてはまる」は安定しています。少人数の環境を活かし調査や相談体制を強化します。具体的な取組を発信し、子どもが安心して過ごせる学校づくりを進めます。

13 学校は、地震・火災・ケガや病気・不審者などに対して、意識を高める取組を行っている。



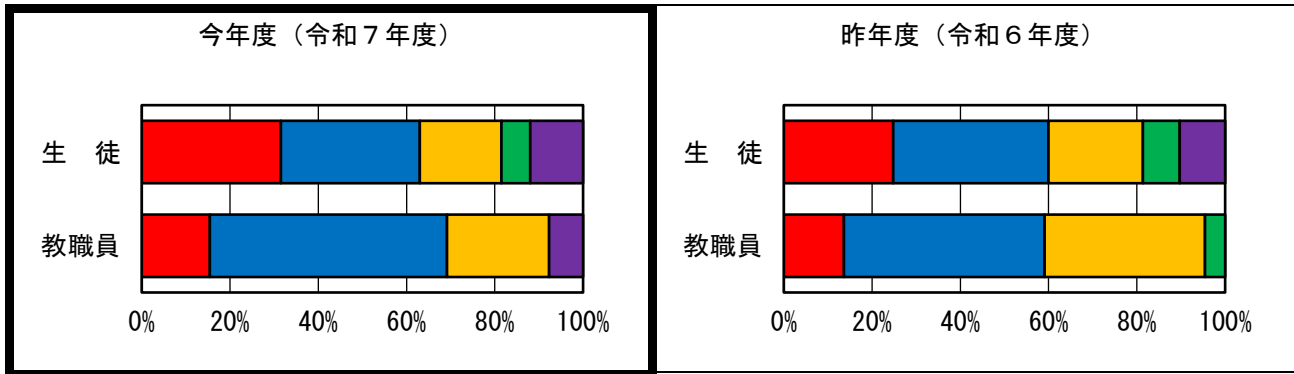
保護者・生徒ともに「あてはまる」は大きな変化はありません。防災訓練や危機管理を継続し、家庭と連携して子どもの安全意識を高めます。日常生活でも防災を意識できるよう努めます。

14 子どもは、ボランティア活動に積極的に参加している。（昨年度は生徒のみ実施）



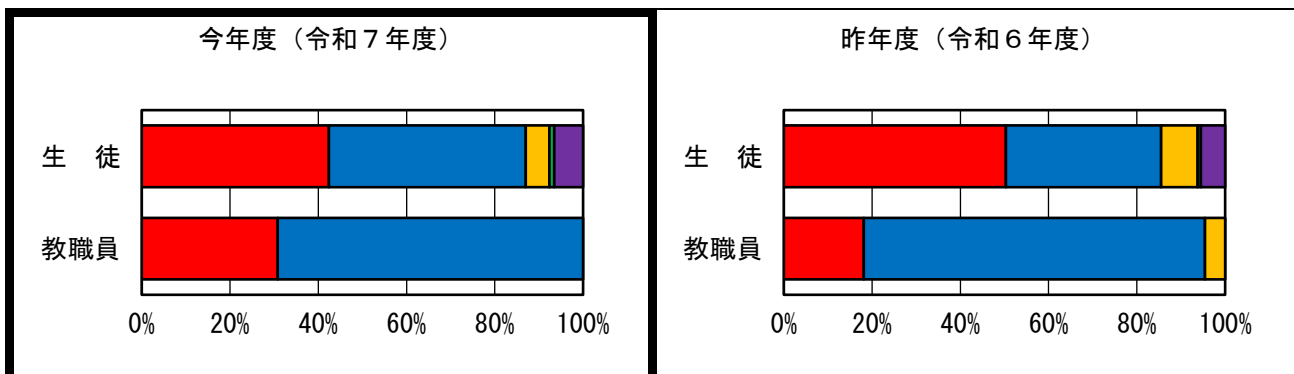
保護者・生徒ともに「あてはまる」は安定しています。ただし三者間で評価に差があり、教職員は高く評価しています。活動後の振り返りを保護者へ発信し、地域連携を強化することで子どもの社会参加意識を高めます。

15 「いきいき わくわく 一歩前へ」を意識して行動している。(生徒・教職員のみ実施)



生徒の「よくあてはまる」が増加し、「あてはまる」全体でも安定しています。スローガンを意識した行動が広がり、理念を日常的に振り返る姿勢が育っています。学校全体でスローガンを共有し、子どもの主体性をさらに伸ばしていきます。

16 学校は「人・モノ・こと」に触れる機会があってよいと感じている。(生徒・教職員のみ実施)



教職員の「よくあてはまる」が増加し、「あてはまる」全体でも増加しています。体験的な学びを肯定的に受け止め、地域交流や文化体験が子どもの成長を後押ししています。今後も体験活動を充実させ、学びの幅を広げていきます。

今回のアンケート結果では、多くの設問で保護者・生徒ともに「あてはまる」との回答が安定しており、学校生活や授業、相談体制などが一定の水準で維持されていることが確認できました。特に、学校生活の楽しさ（設問 1）、ルールやマナーの遵守（設問 7）、スローガン「いきいき わくわく 一歩前へ」の意識（設問 15）、体験的な学び（設問 16）においては、生徒の「よくあてはまる」や「あてはまる」の割合が増加しており、子ども自身の充実感や主体性が高まっていることが明らかになりました。これは、日常的な取組や行事を通じて子どもたちが主体的に成長している成果といえます。

一方で、保護者の評価がやや低めに出ている項目もあり、学校での努力や成果が十分に伝わっていない可能性が見られました。授業改善や環境整備、相談体制の強化などの取組は進んでいるものの、保護者に分かりやすく発信する工夫が求められます。学校と家庭が情報を共有し、互いに理解を深めることで、子どもたちの成長をより確かなものにしていくことができます。

総じて、学校は安定した教育環境を維持しつつ、子どもたちの主体的な成長が着実に進んでいることが確認されました。今後は、成果を積極的に発信し、保護者や地域との連携をさらに強めることで、学校全体の信頼と活力を高めていきます。

〔 問合せ先 〕

東浦町立西部中学校 中山 一樹（TEL：0562-83-1710）